

## 多変量解析 2 最終レポート

下記の課題1または課題2のレポートを提出すること。

ただし、構造方程式モデリングを必ず使い、潜在変数のあるモデル（因子分析、多重指標モデル、MIMIC、PLS等）を分析すること。なお、使用したソフトは必ず明記しておくこと。

課題1.HP ([http://www.mayomi.org/lecture01/Modeling/modeling\\_01.HTML](http://www.mayomi.org/lecture01/Modeling/modeling_01.HTML)) に掲載している生活調査2004のデータを利用して、自由にモデリングを行い、レポートを作成せよ。

体裁は下記のとおりとする。

- 1.分析の着目点、目的
- 2.使用した変数一覧（再加工した場合には、その方法を明記）
- 3.予備解析結果（データモニタリングとして事前に行った分析結果を記載する。ヒストグラムや散布図、多変量連関図などのほか、主成分や探索的因子分析など）
- 4.本解析結果

この部分には、最低限、下記の項目は記載すること。

- (1) モデル（モデル図または方程式の提示）
- (2) 適合度
- (3) 推定値
- (4) 考察

その他、因子得点などを算出した場合などは、適宜報告すること。

### 5.まとめ

課題2.自分で収集したデータ、または先行研究データに基づき、自分のオリジナルなモデリングを行い、レポートを作成せよ。

体裁は、下記のとおりとする。

- 1.分析の目的
- 2.使用したデータ
  - ①相関係数行列+各変数のデータ数・平均・分散 または ②分散共分散行列と各変数のデータ数のいずれかを掲載する。
- 3.予備解析結果（データモニタリングとして事前に行った分析結果を記載する。ヒストグラムや散布図、多変量連関図などのほか、主成分や探索的因子分析など）
- 4.本解析結果

この部分には、最低限、下記の項目は記載すること。

- (1) モデル（モデル図または方程式の提示）
- (2) 適合度
- (3) 推定値
- (4) 考察

その他、因子得点などを算出した場合などは、適宜報告すること。

### 5. 先行研究で使われているモデルへの比較

### 6. まとめ

### 7.参考文献